

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月7日

【四半期会計期間】 第74期第3四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 三洋貿易株式会社

【英訳名】 Sanyo Trading Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 新谷正伸

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田錦町二丁目11番地

【電話番号】 東京03(3518)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 吉田茂樹

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田錦町二丁目11番地

【電話番号】 東京03(3518)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 吉田茂樹

【縦覧に供する場所】 三洋貿易株式会社大阪支店
(大阪市中央区本町三丁目5番7号)

三洋貿易株式会社名古屋支店
(名古屋市中区錦一丁目5番13号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第3四半期 連結累計期間	第74期 第3四半期 連結累計期間	第73期
会計期間	自 2018年10月1日 至 2019年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高 (千円)	64,105,439	57,372,809	83,230,247
経常利益 (千円)	5,097,061	4,205,284	6,075,730
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	3,440,041	2,741,537	4,018,764
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,929,183	2,498,271	3,545,342
純資産額 (千円)	28,727,304	30,777,999	29,343,463
総資産額 (千円)	43,699,691	44,955,713	43,731,246
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	120.15	95.74	140.36
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	119.42	95.08	139.49
自己資本比率 (%)	64.9	67.6	66.2

回次	第73期 第3四半期 連結会計期間	第74期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	34.59	21.88

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。これに伴い、第73期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益を算定しています。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりです。

(化成品)

第1四半期連結会計期間より、当社グループにおける重要性が増したため、アズロ株式会社を新たに連結の範囲に含めています。

また、第1四半期連結会計期間において、株式の取得に伴い、株式会社ワイピーテックを連結子会社にしています。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、今後、新型コロナウイルス感染症拡大が長期化した場合は、需要の落ち込みや主要顧客の稼働停止により、当社の事業活動および収益確保へのさらなる影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

1. 経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初は緩やかな回復基調にあったものの、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により景気が大幅に下押しされ、非常に厳しい状況下にあります。先行きについては、5月25日の緊急事態宣言解除を受けて社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで持ち直していくことが期待されますが、感染第2波への懸念もくすぶっており、極めて不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は57,372百万円（前年同四半期比10.5%減）、営業利益は3,821百万円（前年同四半期比22.0%減）、経常利益は4,205百万円（前年同四半期比17.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,741百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるために、のれん償却額の配賦基準を見直し、各事業セグメントへ配賦を行っています。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成したものを記載しています。

化成品

ゴム関連商品は、主力の自動車向け合成ゴムや副資材の出荷が低調に推移したことに加え収益面でも厳しい状況となりました。また、輸出品も好調であった昨年の反動減がありました。化学品関連商品では、主力の塗料・インキ関連の高付加価値商材が堅調に推移したほか、新たに連結子会社化したワイピーテックが収益寄与しましたが、半導体関連商材・接着剤等の伸び悩みやアジア向け輸出の落ち込み、買収費用の一括計上等により、全体としては前年同期を下回りました。

この結果、売上高は24,006百万円（前年同四半期比1.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1,090百万円（前年同四半期比14.5%減）となりました。

機械資材

産業資材関連商品では、シート用部品等の自動車内装用部品において、国内自動車メーカーの生産活動が急激に落ち込んだ影響を受けています。機械・環境関連商品は、木質バイオマス関連事業において新規の大型案件計上が無く、前年同期を大きく下回りました。科学機器関連商品は、主力の摩擦摩耗試験機及びバイオ関連機器が堅調に推移しました。資源開発関連商品は前期に海洋開発分野で計上した大型案件の反動減があった一方で、地熱開発機器が好調に推移しました。

この結果、売上高は20,368百万円（前年同四半期比20.3%減）、セグメント利益（営業利益）は2,554百万円（前年同四半期比23.9%減）となりました。

海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、ゴム関連が低調でしたが、販管費が減少したことにより営業利益は前年同期を上回りました。三洋物産貿易(上海)有限公司は、新型コロナウイルスの影響により自動車関連を始め主要顧客が一時的に稼働停止となったことの影響を受けました。Sanyo Trading Asia Co., Ltd.(タイ)は、タイ国内の自動車市場の不振・パーツ高による輸出の減少に歯止めがかからず、売上・利益ともに大きく落ち込みました。Sanyo Trading(Viet Nam) Co., Ltd.は、化学品・自動車関連が振るわず業績は平調でした。Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.も、自動車関連が低迷しましたが、販管費の減少によって営業利益は微増となりました。

この結果、売上高は12,882百万円(前年同四半期比12.8%減)、セグメント利益(営業利益)は675百万円(前年同四半期比12.2%減)となりました。

2. 財政状態

(資産)

流動資産は、売上減に伴って売上債権が大きく減少した一方で、連結子会社の増加等によって現金及び預金や商品及び製品が増加したことにより前連結会計年度末比661百万円増加し、37,038百万円となりました。

固定資産は、主に工場建設用地取得やワイピーテック社買収に伴うのれんの計上により前連結会計年度末比562百万円増加し、7,917百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は44,955百万円(前連結会計年度末比1,224百万円の増加)となりました。

(負債)

流動負債は、金融機関からの借入金や賞与引当金等の引当金の増加の一方、仕入債務や法人税等の中間納付による未払法人税等の減少により前連結会計年度末比220百万円減少し、13,007百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債の減少の一方で、退職給付に係る負債や連結子会社の役員退職慰労引当金の計上により前連結会計年度末比10百万円増加し、1,169百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は14,177百万円(前連結会計年度末比210百万円の減少)となりました。

(純資産)

その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少によってその他の包括利益累計額が減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によって利益剰余金が増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における純資産は30,777百万円(前連結会計年度末比1,434百万円の増加)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は15百万円です。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年8月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,007,708	29,007,708	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株 です。
計	29,007,708	29,007,708	-	-

(注) 2020年1月16日開催の取締役会決議により、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。これにより、発行済株式総数は14,503,854株増加し、29,007,708株となりました。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日		29,007,708		1,006,587		367,844

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 366,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 28,631,700	286,317	-
単元未満株式	普通株式 9,708	-	(注)
発行済株式総数	29,007,708	-	-
総株主の議決権	-	286,317	-

(注) 単元未満株式の欄の普通株式には、当社所有の自己株式20株が含まれています。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 三洋貿易(株)	東京都千代田区神田錦町 二丁目11番地	366,300		366,300	1.26
計	-	366,300		366,300	1.26

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年10月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,548,545	5,956,772
受取手形及び売掛金	16,440,959	14,305,866
電子記録債権	1,038,506	948,948
商品及び製品	12,807,508	14,218,672
仕掛品	9,567	6,205
原材料及び貯蔵品	2,944	3,586
その他	1,560,079	1,625,587
貸倒引当金	31,961	27,640
流動資産合計	36,376,150	37,038,000
固定資産		
有形固定資産	2,195,378	2,518,702
無形固定資産		
のれん	269,804	806,667
その他	621,233	518,303
無形固定資産合計	891,038	1,324,971
投資その他の資産		
投資有価証券	3,261,750	2,932,026
その他	1,007,804	1,145,070
貸倒引当金	876	3,057
投資その他の資産合計	4,268,678	4,074,039
固定資産合計	7,355,095	7,917,713
資産合計	43,731,246	44,955,713

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,348,338	8,136,467
短期借入金	1,189,283	1,531,313
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	1,103,870	488,410
引当金	21,669	425,646
その他	2,515,160	2,375,929
流動負債合計	13,228,323	13,007,767
固定負債		
長期借入金	70,000	70,000
引当金	-	40,436
退職給付に係る負債	847,580	870,529
その他	241,878	188,980
固定負債合計	1,159,458	1,169,946
負債合計	14,387,782	14,177,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	405,231	404,235
利益剰余金	27,113,375	28,786,695
自己株式	181,115	176,221
株主資本合計	28,344,078	30,021,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	721,055	497,762
為替換算調整勘定	110,093	146,631
その他の包括利益累計額合計	610,961	351,131
新株予約権	95,023	107,701
非支配株主持分	293,400	297,870
純資産合計	29,343,463	30,777,999
負債純資産合計	43,731,246	44,955,713

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	64,105,439	57,372,809
売上原価	52,601,113	46,538,365
売上総利益	11,504,325	10,834,443
販売費及び一般管理費	6,601,513	7,012,547
営業利益	4,902,812	3,821,895
営業外収益		
受取利息	9,582	19,043
受取配当金	61,052	66,169
為替差益	111,190	272,719
その他	62,299	67,613
営業外収益合計	244,123	425,546
営業外費用		
支払利息	18,816	13,426
売上割引	7,265	6,871
その他	23,792	21,858
営業外費用合計	49,875	42,157
経常利益	5,097,061	4,205,284
特別利益		
受取補償金	17,641	-
特別利益合計	17,641	-
税金等調整前四半期純利益	5,114,702	4,205,284
法人税等	1,641,593	1,446,051
四半期純利益	3,473,109	2,759,233
非支配株主に帰属する四半期純利益	33,067	17,695
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,440,041	2,741,537

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,473,109	2,759,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	394,669	224,423
為替換算調整勘定	149,256	36,537
その他の包括利益合計	543,926	260,961
四半期包括利益	2,929,183	2,498,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,896,777	2,481,707
非支配株主に係る四半期包括利益	32,405	16,564

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間より、当社グループにおける重要性が増したため、アズロ株式会社を新たに連結の範囲に含めています。 また、第1四半期連結会計期間において、株式会社ワイピーテックの全株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めています。	

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

下記の銀行借入等に対して、債務保証を行っています。

	前連結会計年度 (2019年9月30日)		当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
従業員	-	従業員	1,351千円
三洋東知(上海)橡 [®] 有限公司	25,089千円	三洋東知(上海)橡 [®] 有限公司	-
PT. Sanyo Trading Indonesia	21,784千円	PT. Sanyo Trading Indonesia	54,370千円
計	46,873千円	計	55,721千円

2 手形割引高

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
輸出手形割引高	1,634千円	15,343千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	260,126千円	285,298千円
のれんの償却額	121,909千円	240,055千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月6日 取締役会	普通株式	486,733	34.00	2018年9月30日	2018年11月30日	利益剰余金
2019年5月13日 取締役会	普通株式	529,679	37.00	2019年3月31日	2019年6月11日	利益剰余金

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しましたが、1株当たり配当額は当該株式分割前の株式数を基準に記載しています。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月6日 取締役会	普通株式	529,674	37.00	2019年9月30日	2019年11月29日	利益剰余金
2020年5月12日 取締役会	普通株式	529,865	18.50	2020年3月31日	2020年6月9日	利益剰余金

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。当該株式分割は2020年2月1日を効力発生日としていますので、2019年9月30日を基準日とする配当につきましては、1株当たり配当額は当該株式分割前の株式数を基準に記載しています。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	23,629,177	25,548,156	14,773,123	63,950,457	91,851	64,042,309	63,129	64,105,439
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,989,410	316,150	1,286,602	3,592,163	20,112	3,612,276	3,612,276	-
計	25,618,588	25,864,306	16,059,726	67,542,621	111,963	67,654,585	3,549,146	64,105,439
セグメント利益	1,274,768	3,355,684	769,503	5,399,956	53,552	5,453,508	550,696	4,902,812

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額63,129千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益の調整額 550,696千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費 587,380千円、管理会計との為替調整額 16,208千円が含まれています。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	24,006,558	20,368,435	12,882,048	57,257,042	85,695	57,342,737	30,071	57,372,809
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,784,354	233,119	1,362,746	3,380,219	27,535	3,407,755	3,407,755	-
計	25,790,912	20,601,555	14,244,794	60,637,261	113,231	60,750,493	3,377,684	57,372,809
セグメント利益	1,090,174	2,554,881	675,757	4,320,813	57,974	4,378,788	556,892	3,821,895

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額30,071千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益の調整額 556,892千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費 595,639千円、管理会計との為替調整額 15,596千円が含まれています。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるために、のれん償却額の配賦基準を見直し、各事業セグメントへ配賦を行っています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成したものを記載しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社ワイピーテックの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「化成品」セグメントにおいて、のれん757,004千円を計上しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	120.15円	95.74円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	3,440,041	2,741,537
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	3,440,041	2,741,537
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,631	28,635
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	119.42円	95.08円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	175	199
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜 在株式で、前連結会計年度末から重要な変動が あったものの概要	-	-

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行いました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第74期（2019年10月1日から2020年9月30日まで）中間配当について、2020年5月12日開催の取締役会において、2020年3月31日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議し、支払を行いました。

配当金の総額	529,865千円
1株当たりの金額	18円50銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年6月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月7日

三洋貿易株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	竹	野	俊	成
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	跡	部	尚	志

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三洋貿易株式会社の2019年10月1日から2020年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三洋貿易株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しています。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。